

令和 6 年 5 月 29 日現在

機関番号：12601

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2019～2023

課題番号：19K24292

研究課題名（和文）ゲーミフィケーションを用いたジョブ・クラフティング促進介入の心の健康への効果検討

研究課題名（英文）Examining the effects of a gamification-based job crafting intervention program on mental health

研究代表者

櫻谷 あすか（Sakuraya, Asuka）

東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・特任講師

研究者番号：70845461

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、ゲーミフィケーションを活用したジョブ・クラフティング促進プログラムを開発し、その効果を検討した。はじめに、カードゲームを用いた集合研修形式のプログラムを作成した。次に、日本の労働者（59名）を対象に、本プログラムを提供し、単群前後比較試験により、心の健康（ワーク・エンゲイジメント、および心理的ストレス反応）や仕事の生産性に対する効果を検証した。結果として、いずれのアウトカムにおいても有意な結果は得られなかった。一方、プログラムの満足度の高い群や、負担感の低い群において、仕事の生産性が向上する傾向が見られたことから、満足度や負担感の改善で効果が向上するかもしれないと考えられる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、ゲーミフィケーションを活用したジョブ・クラフティング促進プログラムを世界で初めて開発し、心の健康や、仕事の生産性への効果検証をした点から、学術的意義が高いと考えられる。結果として、心の健康や仕事の生産性への有意な効果は確認されなかったものの、プログラム満足度の高い群や、プログラム負担感の低い群では、仕事の生産性が向上する傾向があったことから、満足感や負担感を改善することで効果を高められる可能性が考察できる。この結果は、現場での実践に繋がる社会的意義のある知見と考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study developed a gamification-based job crafting intervention program and investigated the effects on mental health and work performance. First, we developed a group training format program using a card game. Next, the effects of the program on mental health (e.g., work engagement and psychological distress) and work performance were examined among Japanese workers (N=59) using a pretest-posttest study design. As a result, the outcomes did not improve significantly ($p>0.05$). On the other hand, for workers who rated the program satisfaction as high and those who rated the program burden as low, the program increased work performance. These results suggest that improvement in program satisfaction and program burden would be significant for improving outcomes.

研究分野：産業精神保健

キーワード：ジョブ・クラフティング ゲーミフィケーション ワーク・エンゲイジメント 心理的ストレス反応
労働者

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C-19、F-19-1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

近年、労働者の心の健康対策を推進するために、心理的ストレス反応といったネガティブな精神状態の改善に加え、仕事への熱意や活力といったポジティブな心理状態 = ワーク・エンゲイジメント(Work Engagement; 以下 WE)の向上が重要とされている(Schaufeli & Bakker, 2003; WHO, 2011; NICE, 2009)。これらの心の健康の増進により、労働者の心身の健康、および生産性の向上が期待される(Imamura et al., 2016; Shimazu & Schaufeli, 2009)。

その中、心の健康の増進方策として、ジョブ・クラフティング(労働者が自らのやりがいを高めるために自主的な働き方をすること; 以下 JC)が注目されている(Demerouti, 2014)。例えば、仕事の意義を考え、やる気を高めることや、自分の強みを見つけ、それを活かすように仕事をすることが挙げられる。既存の観察研究から、JCにより、仕事に対する満足感や達成感が高まり、心の健康増進の効果が期待される(Rudolph et al., 2017)。

しかし、JC を十分に促進させるプログラムは未だ開発されていないために、その介入研究が少ないという現状がある。従来のプログラムは講義形式であり、参加者は JC を受動的に学ぶことしかできず、能動的に JC を実践することはできなかった(Sakuraya et al., 2016)。その解決策として、ゲーミフィケーションの活用が注目されている。ゲーミフィケーションとは、遊びや競争など、人を楽しませて熱中させるゲームの要素を、教育の分野等で活用することを指す(Brigham, 2015)。ゲーミフィケーションを活用することで、参加者は能動的に学習をすることができ、行動変容を起こしやすいという利点がある(Werbach & Hunter, 2012)。

2. 研究の目的

本研究では、ゲーミフィケーションを活用して、JC 促進プログラムを新たに開発し、心の健康(WE・心理的ストレス反応)増進に対する効果を検討することを目的とした。

3. 研究の方法

(1) 研究デザイン

本研究は単群の前後比較試験として実施された。本研究は東京大学大学院医学系研究科・医学部の倫理委員会で承認を得て実施した(2023148NI-(3))。また、UMIN 臨床試験登録に登録済みである(UMIN000052229)。

(2) 参加者

本研究では、労働者を対象とした。その他、組み入れ基準および除外基準は設けていない。

(3) 介入内容

カードゲームを用いた集合研修形式の JC 促進プログラムを開発した。本プログラムは、集合研修2回(1回目:対面形式120分、2回目:オンライン形式90分)と研修後のメールフォローで構成され、2回の研修の間は1か月のインターバルを設けた。1回目研修では、参加者はカードゲームを用いた、JC の考え方や事例を体験的に学習するワークに取り組み、その後、自身 JC 計画の立案をする。2回目研修では、JC 計画の振り返りを行い、より継続可能な JC 計画の立案をする。

(4) 測定

WE を測定する指標として Utrecht Work Engagement Scale (UWES) (全9項目)、心理的ストレス反応を測定する指標として Kessler's psychological distress scale (K6) (全6項目)、仕事の生産性を測定する指標として、WHO Health and Work Performance Questionnaire (HPQ) の1項目、JC を測定する指標として Job crafting scale(全12項目)を用いた。全参加者に対して、介入前、介入直後、および介入後1か月時点で調査を実施した。また、プログラムの定性評価として、プログラムの満足度や負担感等について聴取した。その他、性別、年齢、職業等の基本属性を聴取した。

(5) 統計解析

介入効果の計算には、3時点(介入前、介入直後、介入1ヶ月後調査)での線形混合効果モデルによる解析を行った。介入前と介入直後、および介入前と介入1ヶ月後調査について、アウトカム指標の得点差から効果量(Cohen's *d*)を計算した。また、サブグループ解析として、プログラムの満足度高低と負担感高低における介入効果を検討した。統計パッケージには、SPSS Statistics 29.0を使用した。

4. 研究成果

(1) 募集の流れ

日本の2事業所の社員に参加を呼びかけ、合計で、59名が研究参加に同意し、介入前調査に回答した。その後、JC 促進プログラムを提供し、介入直後調査には49名(83.1%)、介入1か月

後調査には 48 名 (81.4%) が回答した。

(2) 介入前調査における参加者の特徴

平均年齢は、34.3 歳 (標準偏差 7.4) であり、女性が 37 名 (62.7%) だった。職種については、専門・技術職が多く (57 名、96.6%)、学歴については、大学卒業以上が多い傾向だった (53 名、89.8%)。婚姻状態は、既婚が 28 名 (47.5%)、その他 (未婚、婚姻以外の内縁、離婚、または死別) が 31 名 (52.5%) だった。

(3) 介入効果

線形混合効果モデルの解析、および効果量 (Cohen's *d*) の結果を表 1 に示す。いずれのアウトカムにおいても有意な結果は得られず、その効果量も小程度であった (介入直後 $d = -0.16 \sim 0.16$; 介入後 1 ヵ月 $d = -0.28 \sim 0.11$)。

(4) プロセス評価およびサブグループ解析

プログラム満足度においては、78% (38/49 名) が「とても満足」または「まあ満足」と回答し、負担感においては 51% (25/49 名) が「負担は小さかった」と回答した (表 2)。サブグループ解析の結果、プログラム満足度高群 (「とても満足」または「まあ満足」と回答した 38 名) において、仕事の生産性の有意な向上 ($t=2.73, p=0.01$)、加えて、プログラム負担感低群 (「負担は小さかった」と回答した 25 名) においても、有意傾向の向上が確認された ($t=1.93, p=0.058$)。また、プログラムの満足度低群 (「どちらでもない」または「やや不満」と回答した 11 名) において、JC および WE の有意傾向の減少が確認された (JC: $t=-1.88, p=0.09$, WE: $t=-2.07, p=0.051$)。これ以外のサブグループとアウトカムの組み合わせでは有意な介入効果は認められなかった ($p>0.10$)。

(5) 考察

本研究で開発した、ゲーミフィケーションを用いた JC 介入プログラムは、全アウトカムにおいて、有意な効果は認められなかった。これは、既存の JC 介入研究とは異なる結果となった (Sakuraya et al., 2016; 2020; 2022)。特に、JC 得点の向上が見られなかったことから、ゲーミフィケーション介入が、十分に JC の行動促進をできなかった可能性が考えられる。例えば、Almeida et al. (2023) によると、参加者の特性によっては、ゲームの「ポイント性」や、「競争」の要素が入ることで、学習のモチベーションや効果が下がる場合がある。このような特性を踏まえ、学習効果を高めるようなゲーミフィケーションの活用方法を検討する必要がある。

一方で、プログラム満足度の高い群、および負担感が低い群では、仕事の生産性が向上する傾向、および、プログラムへの満足度の低い群では、JC や WE が減少する傾向があった。満足度や負担感が、本プログラムの JC、WE および、仕事の生産性向上に関連がある可能性が考えられる。「どのような要素が参加者の満足度を高めるのか」また「負担感を下げるのか」について更に調査し、プログラム改善に役立てることが必要だと考えられる。

本研究では、研究の参加者が当初の予定より少なく、また、コロナ禍において企業の協力を得ることが困難だったため、無作為化対照試験によるプログラムの効果検証はできなかった。今後も研究協力企業を募り、研究を継続する予定である。しかしながら、労働者を対象とした、ゲーミフィケーションを活用した JC 促進プログラムに関する研究は、世界的にまだ少ないことを踏まえると、本研究結果は、労働者の心の健康や仕事の生産性向上のために重要な知見と考えられる。

表. JC プログラムの各変数に対する効果 (線形混合効果モデルによる) * (59 名)

| | 固定効果 の推定値 | 95% CI | | t | p | Cohen's <i>d</i> | |
|--------------|--------------|--------|--------|-------|------|------------------|-----------------|
| | | lower | higher | | | T2-T1 (49 名) | T3-T1 (48 名) |
| ワーク・エンゲイジメント | -0.09 | -0.19 | 0.01 | -1.74 | 0.09 | -0.16 | -0.28 |
| ジョブ・クラフティング | -0.05 | -0.16 | 0.06 | -0.91 | 0.37 | -0.04 | -0.06 |
| 心理的ストレス反応 | 0.18 | -0.26 | 0.63 | 0.83 | 0.41 | 0.12 | 0.11 |
| 仕事の生産性 | 0.12 | -0.17 | 0.41 | 0.83 | 0.41 | 0.16 | 0.11 |

T1=介入前調査、T2=介入直後調査、T3=介入 1 ヵ月後調査

*性別、年齢、職業、学歴、婚姻状況、テレワーク実施の有無、週当たり労働時間で調整済み

表2. プログラムの満足度および負担感 (回答者 49 名)

| このプログラム全体の満足度を教えてください | 人数 | % |
|---------------------------|----|------|
| とても満足 | 11 | 22.4 |
| まあ満足 | 27 | 55.1 |
| どちらでもない | 7 | 14.3 |
| やや不満 | 4 | 8.2 |
| とても不満 | 0 | 0 |
| プログラムの負担感はいかがでしたか | 人数 | % |
| 負担が大きく、業務に支障をきたした | 0 | 0 |
| 負担はあったが、業務に支障をきたすほどではなかった | 24 | 49.0 |
| 負担は小さかった | 25 | 51.0 |

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 22件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 15件）

| | |
|--|-------------------------------|
| 1. 著者名 Mako Iida and Asuka Sakuraya, Kotaro Imamura, Hiroki Asaoka, Hideaki Arima et al. | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Effects of participatory organizational interventions on mental health and work performance: A protocol for systematic review and meta-analysis | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational Health | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Watanabe Kazuhiro, Hikichi Hiroyuki, Imamura Kotaro, Sakuraya Asuka, Yoshikawa Toru, Izawa Shuhei, Eguchi Hisashi, Inoue Akiomi, Yoshida Kengo, Orihashi Yasushi, Tsutsumi Akizumi | 4. 巻 24 |
| 2. 論文標題 Multifaceted ORganizational InterventiONs (M-ORION) project for prevention of depression and anxiety among workers: study protocol for a five-arm cluster randomized controlled trial | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 BMC Public Health | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12889-024-18112-w | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Iida Mako, Sakuraya Asuka, Watanabe Kazuhiro, Imamura Kotaro, Sawada Utako, Akiyama Hiroto, Komase Yu, Miyamoto Yuki, Kawakami Norito | 4. 巻 12 |
| 2. 論文標題 The association between team job crafting and work engagement among nurses: a prospective cohort study | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 BMC Psychology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s40359-024-01538-7 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Matsumura Masayo, Komatsu Shohei, Imamura Kotaro, Iida Mako, Kawakami Norito | 4. 巻 94 |
| 2. 論文標題 Statement on use of generative artificial intelligence by adolescents | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 Asian Journal of Psychiatry | 6. 最初と最後の頁 103947 ~ 103947 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.ajp.2024.103947 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 櫻谷 あすか、今村 幸太郎、川上 恵人 | 4. 巻 36 |
| 2. 論文標題 労働者を対象としたデジタルメンタルヘルスの現状と課題：総説 | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 産業医学レビュー | 6. 最初と最後の頁 188～212 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34354/ohpfrev.36.3_188 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Dohi Yuri, Imamura Kotaro, Sasaki Natsu, Komase Yu, Sakuraya Asuka, Nakamura Yuri, Maejima Megumi, Aoyama Mitsuo, Kawakami Norito, Miyamoto Yuki | 4. 巻 65 |
| 2. 論文標題 Effects of an Internet Delivered Behavioral Activation Program on Improving Work Engagement Among Japanese Workers | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 e654～e659 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002933 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------------|
| 1. 著者名 Eguchi Hisashi, Watanabe Kazuhiro, Kawakami Norito, Ando Emiko, Imamura Kotaro, Sakuraya Asuka, Sasaki Natsu, Inoue Akiomi, Tsuno Kanami, Otsuka Yasumasa, Inoue Reiko, Nishida Norimitsu, Iwanaga Mai, Hino Ayako, Shimazu Akihito, Tsutsumi Akizumi | 4. 巻 170 |
| 2. 論文標題 Work-related psychosocial factors and inflammatory markers: A systematic review and meta-analysis | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Psychosomatic Research | 6. 最初と最後の頁 111349～111349 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jpsychores.2023.111349 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Tsuno Kanami, Inoue Akiomi, Otsuka Yasumasa, Eguchi Hisashi, Watanabe Kazuhiro, Arakawa Yuki, Kawakami Norito, Kobayashi Yuka | 4. 巻 66 |
| 2. 論文標題 Development and validation of the University of Tokyo Occupational Mental Health leadership checklist among occupational health specialists | 5. 発行年 2024年 |
| 3. 雑誌名 SANGYO EISEIGAKU ZASSHI | 6. 最初と最後の頁 31～44 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1539/sangyoeisei.2022-015-E | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 Sasaki Natsu, Imamura Kotaro, Watanabe Kazuhiro, Hidaka Yui, Ando Emiko, Eguchi Hisashi, Inoue Akiomi, Tsuno Kanami, Komase Yu, Iida Mako, Otsuka Yasumasa, Sakuraya Asuka, Asai Yumi, Iwanaga Mai, Kobayashi Yuka, Inoue Reiko, Shimazu Akihito, Tsutsumi Akizumi, Kawakami Norito | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 The impact of workplace psychosocial factors on menstrual disorders and infertility: a protocol for a systematic review and meta-analysis | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Systematic Reviews | 6. 最初と最後の頁 195 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13643-022-02066-4 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 Eiko Ozasa, Asuka Sakuraya, Yasuto Sato, Sachiko Takehara, Noriko Kojimahara | 4. 巻 6 |
| 2. 論文標題 How Doctors in Charge of Medical Education Recognize and Use Clinical Practice Guidelines in Education: A Cross-Sectional Study | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Tokyo Women's Medical University Journal | 6. 最初と最後の頁 67-71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24488/twmuj.2022003 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Iida Mako, Imamura Kotaro, Ando Emiko, Arima Hideaki, Asaoka Hiroki, Eguchi Hisashi, Hidaka Yui, Hino Ayako, Inoue Akiomi, Inoue Reiko, Iwanaga Mai, Kobayashi Yuka, Komase Yu, Otsuka Yasumasa, Sasaki Natsu, Shimazu Akihito, Tsuno Kanami, Watanabe Kazuhiro, Kawakami Norito, Tsutsumi Akizumi | 4. 巻 65 |
| 2. 論文標題 A proposed definition of participatory organizational interventions | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational Health | 6. 最初と最後の頁 e12386 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12386 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Watanabe Kazuhiro, Imamura Kotaro, Eguchi Hisashi, Hidaka Yui, Komase Yu, Sakuraya Asuka, Inoue Akiomi, Kobayashi Yuka, Sasaki Natsu, Tsuno Kanami, Ando Emiko, Arima Hideaki, Asaoka Hiroki, Hino Ayako, Iida Mako, Iwanaga Mai, Inoue Reiko, Otsuka Yasumasa, Shimazu Akihito, Kawakami Norito, Tsutsumi Akizumi | 4. 巻 20 |
| 2. 論文標題 Usage of the Brief Job Stress Questionnaire: A Systematic Review of a Comprehensive Job Stress Questionnaire in Japan from 2003 to 2021 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health | 6. 最初と最後の頁 1814 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20031814 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Shimazu Akihito, Imamura Kotaro, Kawakami Norito | 4. 巻 64 |
| 2. 論文標題 Effects of a Job Crafting Intervention Program on Work Performance Among Japanese Employees: An Analysis of Secondary Outcomes of a Randomized Controlled Trial | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 e202 ~ e210 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002480 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------------|
| 1. 著者名 Imamura Kotaro, Sasaki Natsu, Sekiya Yuki, Watanabe Kazuhiro, Sakuraya Asuka, Matsuyama Yutaka, Nishi Daisuke, Kawakami Norito | 4. 巻 6 |
| 2. 論文標題 The Effect of the Imacoco Care Psychoeducation Website on Improving Psychological Distress Among Workers During the COVID-19 Pandemic: Randomized Controlled Trial | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 JMIR Formative Research | 6. 最初と最後の頁 e33883 ~ e33883 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/33883 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 櫻谷あすか, 今村幸太郎, 川上憲人 | 4. 巻 44 |
| 2. 論文標題 労働者の主観的ウェルビーイング向上のための介入: 系統的レビューとメタ分析 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 産業医学ジャーナル | 6. 最初と最後の頁 86-91 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Imamura K, Tran TTT, Nguyen HT, Sasaki N, Kuribayashi K, Sakuraya A, Bui TM, Nguyen AQ, Nguyen QT, Nguyen NT, NguyenKT, Nguyen GTH, Tran XTN, Truong TQ, ZhangMW, Minas H, Sekiya Y, Watanabe K, Tsutsumi A, Kawakami N | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 Effect of smartphone-based stress management programs on depression and anxiety of hospital nurses in Vietnam: a three-arm randomized controlled trial | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Scientific Reports | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-90320-5 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Imamura Kotaro, Watanabe Kazuhiro, Asai Yumi, Ando Emiko, Eguchi Hisashi, Nishida Norimitsu, Kobayashi Yuka, Arima Hideaki, Iwanaga Mai, Otsuka Yasumasa, Sasaki Natsu, Inoue Akiomi, Inoue Reiko, Tsuno Kanami, Hino Ayako, Shimazu Akihito, Tsutsumi Akizumi, Kawakami Norito | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 What Kind of Intervention Is Effective for Improving Subjective Well-Being Among Workers? A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.528656 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 小林 由佳、井上 彰臣、津野 香奈美、櫻谷 あすか、大塚 泰正、江口 尚、渡辺 和広 | 4. 巻 33 |
| 2. 論文標題 リーダーシップの理論と産業保健専門職のリーダーシップへの応用：文献レビュー | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 産業医学レビュー | 6. 最初と最後の頁 225-250 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Kawakami Norito, Thi Thu Tran Thuy, Watanabe Kazuhiro, Imamura Kotaro, Thanh Nguyen Huong, Sasaki Natsu, Kuribayashi Kazuto, Sakuraya Asuka, Thuy Nguyen Quynh, Thi Nguyen Nga, Minh Bui Thu, Thi Huong Nguyen Giang, Minas Harry, Tsutsumi Akizumi | 4. 巻 15 |
| 2. 論文標題 Internal consistency reliability, construct validity, and item response characteristics of the Kessler 6 scale among hospital nurses in Vietnam | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 PLOS ONE | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0233119 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Tran Thuy Thi Thu, Watanabe Kazuhiro, Imamura Kotaro, Nguyen Huong Thanh, Sasaki Natsu, Kuribayashi Kazuto, Sakuraya Asuka, Nguyen Nga Thi, Bui Thu Minh, Nguyen Quynh Thuy, Truong Tien Quang, Nguyen Giang Thi Huong, Minas Harry, Tsutsumi Akizumi, Shimazu Akihito, Kawakami Norito | 4. 巻 62 |
| 2. 論文標題 Reliability and validity of the Vietnamese version of the 9 item Utrecht Work Engagement Scale | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational Health | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12157 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Iida Mako, Watanabe Kazuhiro, Imamura Kotaro, Sakuraya Asuka, Asaoka Hiroki, Sato Nana, Nozawa Kyosuke, Kawakami Norito | 4. 巻 44 |
| 2. 論文標題 Development and validation of the Japanese version of the team job crafting scale for nurses | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Research in Nursing & Health | 6. 最初と最後の頁 329 ~ 343 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/nur.22110 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Sasaki Natsu, Tsuno Kanami, Hidaka Yui, Ando Emiko, Asai Yumi, Sakuraya Asuka, Hino Ayako, Inoue Reiko, Imamura Kotaro, Watanabe Kazuhiro, Tsutsumi Akizumi, Kawakami Norito | 4. 巻 - |
| 2. 論文標題 Expected research in the workplace among Japanese female workers: A cross-sectional online survey based on the framework of patient and public involvement | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 SANGYO EISEIGAKU ZASSHI | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1539/sangyoeisei.2020-002-B | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Sasaki Natsu, Imamura Kotaro, Tran Thuy Thi Thu, Nguyen Huong Thanh, Kuribayashi Kazuto, Sakuraya Asuka, Bui Thu Minh, Nguyen Quynh Thuy, Nguyen Nga Thi, Nguyen Giang Thi Huong, Zhang Melvyn Weibin, Minas Harry, Sekiya Yuki, Watanabe Kazuhiro, Tsutsumi Akizumi, Shimazu Akihito, Kawakami Norito | 4. 巻 23 |
| 2. 論文標題 Effects of Smartphone-Based Stress Management on Improving Work Engagement Among Nurses in Vietnam: Secondary Analysis of a Three-Arm Randomized Controlled Trial (Preprint) | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Medical Internet Research | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/preprints.20445 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 該当する |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Sakuraya Asuka, Shimazu Akihito, Imamura Kotaro, Kawakami Norito | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 Effects of a Job Crafting Intervention Program on Work Engagement Among Japanese Employees: A Randomized Controlled Trial | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Frontiers in Psychology | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.00235 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 櫻谷あすか, 今村幸太郎, 渡辺和広, 澤田宇多子, 駒瀬優, 小松周子, 杉野敦, 日高結衣, 岡田順二, 八木一弘, 正木宏明, 牧田広志, 川上憲人 | 4. 巻 42 |
| 2. 論文標題 健康経営アウトカムとそのリスク要因に関する文献レビュー | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 産業医学ジャーナル | 6. 最初と最後の頁 62-68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計11件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件)

| |
|--|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 今村幸太郎, 関屋裕希, 佐々木那津, 駒瀬優, 川上憲人, TOMH研究会 |
| 2. 発表標題 在宅勤務者を対象としたオンライン阿波踊り介入の効果：前後比較試験 |
| 3. 学会等名 第95回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか |
| 2. 発表標題 産業保健における ジョブ・クラフティング |
| 3. 学会等名 2023年度組織学会年次大会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 今村幸太郎, 堤明純, 島津明人, 川上憲人, TOMH-Rシステムティックレビューチーム |
| 2. 発表標題 労働者の主観的ウェルビーイング向上のための無作為化比較試験のメタ分析 |
| 3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 伴英美子, 時田征人, 西本真寛, 堀田裕司, 笠松哲也, 大藪翔太, 甲斐成美, 平山純, 島津明人 |
| 2. 発表標題 Webアプリケーションを活用した ジョブ・クラフティングプログラムの ワーク・エンゲイジメントへの効果 : 無作為化比較試験 |
| 3. 学会等名 第29回日本産業ストレス学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 佐々木那津, 今村幸太郎, 西大輔, 帯包エリカ, 関屋裕希, 渡辺和広, 櫻谷あすか, 川上憲人 |
| 2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症流行下におけるメンタルヘルスクア情報サイト「いまここケア」の実装可能性の評価 |
| 3. 学会等名 D&I科学研究会 (RADISH) 第 6 回学術集会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 小林由佳, 櫻谷あすか, 井上彰臣, 江口尚, 大塚泰正, 津野香奈美, 荒川裕貴, 川上憲人, TOMH専門家養成基礎コース同窓会 |
| 2. 発表標題 産業保健職向けTOMHリーダーシップチェックリストの開発: 予備調査結果 |
| 3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 島津明人, 今村幸太郎, 川上憲人 |
| 2. 発表標題 ジョブ・クラフティングとワーク・エンゲイジメントおよびパフォーマンスとの関連 |
| 3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 飯田真子, 渡辺和広, 今村幸太郎, 櫻谷あすか, 川上憲人 |
| 2. 発表標題 看護師向けチーム・ジョブ・クラフティング尺度の開発と妥当性の検証 |
| 3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 島津明人, 今村幸太郎, 川上憲人 |
| 2. 発表標題 日本人労働者を対象としたジョブ・クラフティング介入プログラムのワーク・エンゲイジメントに対する効果：無作為化比較試験 |
| 3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 堤明純, 島津明人, 川上憲人, TOMH-Rシステムティックレビューチーム |
| 2. 発表標題 労働者の主観的ウェルビーイング(subjective wellbeing)向上のための無作為化比較試験の系統的レビュー |
| 3. 学会等名 第78回日本公衆衛生学会総会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 櫻谷あすか, 飯田真子, 今村幸太郎, 川上憲人 |
| 2. 発表標題 ゲーミフィケーションを用いたジョブ・クラフティングプログラムの効果：前後比較試験 |
| 3. 学会等名 第97回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2024年 |

〔図書〕 計1件

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 著者名 高尾 義明、森永 雄太 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 白桃書房 | 5. 総ページ数 320 |
| 3. 書名 ジョブ・クラフティング | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|---------|---------|